

強者の戦略

《解説》

みなさん、こんにちは。週二回インターネット授業で現れる男、北林です。

さて、問題にはチャレンジしていただきましたか？なかなかヘヴィーな問題でしたね。

問題にも書きましたが、東大は…もちろん東大に限らず論述の問題は、年代が頭に入っていないと厳しいですし、また広い世界を俯瞰する目線もが必要です。また問題から何を聞かれているのか明確にし、文構造を考えなくてははいけません

今回の問題は経過や過程？変化？比較？特徴？…それぞれに答え方があります。それを問題のみで最初の10分から15分の間に構想の下書きを作らなくてははいけません。

よく勘違いする人がいますが、まちがっても指定語句だけで文章をつくってははいけません。指定語句はあくまでも条件であり、材料です。もちろん重要なヒントになります。でも指定語句をつなぐだけではいけないのです。

例えば「カレーライスをつくりなさい」という問いがあったとしましょう。

指定の材料は、牛肉、にんじん、たまねぎ。

こういう問題があった場合、みなさんは牛肉、にんじん、たまねぎだけでカレーはつくれますか？もちろん無理ですよ。

お鍋がいます。カレー粉やルーがいます。水が入ります。人によっては赤ワインをつかったりするでしょう(私もかなりこりますが)。…これで、おわかりですね。指定語句だけで文をつくってははいけません。

まずは文の構成を考えた上で、そこで指定語句をいれていく。もちろん指定語句をヒントとする場合もありますが、それだけで文章を作ってははいけません。では簡単な解説にいきましょう。

《解説》

時期が「ローマ帝国の成立からビザンツ帝国の滅亡にいたるまで」とあるので、前1世紀末か1世紀ごろから1453年までを想定して考えます。

地域は「地中海とその周辺」とありますが、ローマ帝国だったところ、つまり地中海一帯で終わってははいけません。「その周辺」だから、例えば東欧や、ローマと対立したパルティアなどイラン地域も考える必要があるわけです。

地図や略図を書きながら考えるといいですね。

また今回の主問は「どのような文明がおこり、また異なる文明の間でどのような交流と対立が生じたのか」なので、政治史のみで終わってしまっははいけません。

(※文明の定義は難しいが、山川出版社の用語集を例にあげると「文化は、人々が生み出した道具・社会生活・思想・学問など個々の物質的・精神的所産のことで、文明とはそれらの文化がさまざまに組み合わせられて一つの統合体を形成したもの、と一般的には定義できる」とあるので、そこから考えてみよう。)

こういった長い時間の場合、私ならば

	起こった文明	交流と対立
前1世紀		
1世紀		
2世紀		
3世紀…		

といったようにまず年表をつくってみることが多いですね。今回は地図を使う方がいいので、年代ごとに地図を書いて文化の交流を追いかけていくのがいいです。さあ、詳しい解説は今回も載せないでおき

強者の戦略

ます。以上の方法を参考に、少しかんがえてみてください。

《解答例》

地中海世界を統一したローマ帝国では、土木建築や万民法などの実用的文化やラテン語が帝国中に浸透、ローマ文明が地中海一体に広まり、キリスト教も国教となった。395年に帝国が分裂、476年に西ローマ帝国が滅亡すると西方はゲルマン国家が乱立。東ローマではギリシア語が公用語となり、ヘレニズム・ローマ文明を継承、対立していた西アジアの要素やギリシア正教も融合した、ビザンツ文明が生まれた。西方ではローマ教会が東方から次第に自立、726年の聖像禁止令で両者の対立は決定的となった。7世紀に成立したイスラームは、北アフリカからイベリア半島にも拡大、フランクに敗れるも大きな勢力を占めた。西欧では800年のカール戴冠によりゲルマン・ローマ・キリスト教の融合した文明が成立。地中海にはラテン語の西欧文明圏、ギリシア語のビザンツ文明圏、アラビア語のイスラーム文明圏が分立した。ビザンツ帝国はイスラームやスラヴにより領土が奪われるが、ギリシア語文献はイスラームに伝播、「知恵の館」でアラビア語に翻訳されイスラーム科学も発展した。またスラヴにギリシア正教が伝わった。西欧では十字軍を契機にムスリム商人を介した東方貿易が活発化、多くの文物が流入した。シチリアやイベリア半島経由でイスラームからアラビア語の西欧古典が流入、ラテン語に翻訳され12世紀ルネサンスに寄与した。オスマン帝国の圧迫でビザンツ帝国の学者が西欧に逃れ、イタリア＝ルネサンスが発展した。(600字)

さあ、できましたか？この問題は東大スパルタンで解説しました。興味をもったかたは、そちらものぞいてみてください。では次回をお楽しみに☆

チーム・スパルタン 北林久忠